

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公開番号】特開 2002-258145 (P2002-258145A)

【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)

【出願番号】特願 2001-57230 (P2001-57230)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/20 (2006.01)

G 0 3 B 19/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

G 0 2 B 7/36 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/20

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/232 H

H 0 4 N 5/238 Z

G 0 2 B 7/11 D

G 0 3 B 3/00 A

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 20 日 (2006.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像の合焦状態を検出する合焦検出手段と、

上記合焦検出手段による合焦検出時に被写体を照明する補助光手段と、

合焦状態の検出を含む撮影準備動作を指示する 1 段目スイッチ及び撮影開始を指示する 2 段目スイッチからなる 2 段式のスイッチと、

上記 1 段目スイッチの指示によって発光を開始させて、上記合焦検出手段による合焦検出後も発光を継続させ、上記 2 段目スイッチの指示によって発光を停止するよう上記補助光手段を制御する補助光制御手段と を備えることを特徴とするカメラ。

【請求項 2】

上記補助光制御手段は、更に、上記 1 段目スイッチの指示後に上記 2 段目スイッチが指示されずに 1 段目スイッチの指示が解除された場合にも、発光を停止するよう上記補助光手段を制御する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のカメラ。

【請求項 3】

上記補助光制御手段は、上記合焦検出手段による合焦検出期間では上記補助光手段を連続発光させ、この合焦検出期間以外の補助発光期間では補助光手段を間欠発光させるよう制御する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 いずれか 1 項に記載のカメラ。

【請求項 4】

上記補助光手段による発光が、合焦検出期間中の発光か補助発光期間中の発光かを識別させる識別表示手段を備える

ことを特徴とする請求項 3 項に記載のカメラ。

【請求項 5】

被写体像の合焦状態を検出する合焦検出手段と、

上記合焦検出手段による合焦検出時に被写体を照明する補助光手段と、

合焦状態の検出を含む撮影準備動作およびそれに続く撮影開始を指示するリリーススイッチと、

補助光手段の発光を単独で指示する補助光スイッチと、

上記リリーススイッチの指示または補助光スイッチの指示によって発光を開始させ、上記補助光スイッチの指示によって発光を開始させた場合には、リリーススイッチの指示があったときに発光を強制的に停止するよう上記補助光手段を制御する補助光制御手段とを備える

ことを特徴とするカメラ。

【請求項 6】

合焦検出用に被写体を照明する補助光手段と、合焦検出を含む撮影準備動作を指示する 1 段目スイッチ及び撮影開始を指示する 2 段目スイッチからなる 2 段式のスイッチを有するカメラの補助光制御方法において、

上記 1 段目スイッチの指示に従い補助光を発光させ、合焦検出終了後も上記 2 段目スイッチの指示があるまで補助光を継続して発光させることを特徴とする補助光制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る第 1 のカメラは、被写体像の合焦状態を検出する合焦検出手段と、上記合焦検出手段による合焦検出時に被写体を照明する補助光手段と、合焦状態の検出を含む撮影準備動作を指示する 1 段目スイッチ及び撮影開始を指示する 2 段目スイッチからなる 2 段式のスイッチと、上記 1 段目スイッチの指示によって発光を開始させて、上記合焦検出手段による合焦検出後も発光を継続させ、上記 2 段目スイッチの指示によって発光を停止するよう上記補助光手段を制御する補助光制御手段とを備えるものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る第 2 のカメラは、上記第 1 の発明のカメラにおいて、上記補助光制御手段は、更に、上記 1 段目スイッチの指示後に上記 2 段目スイッチが指示されずに 1 段目スイッチの指示が解除された場合にも、発光を停止するよう上記補助光手段を制御するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0008】

本発明に係る第3のカメラは、上記第1の発明または第2の発明のカメラにおいて、上記補助光制御手段は、上記合焦検出手段による合焦検出期間では上記補助光手段を連続発光させ、この合焦検出期間以外の補助発光期間では補助光手段を間欠発光させるよう制御するものである。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

本発明に係る第4のカメラは、上記第3の発明のカメラにおいて、上記補助光手段による発光が、合焦検出期間中の発光か補助発光期間中の発光かを識別させる識別表示手段を備えるものである。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

本発明に係る第5のカメラは、被写体像の合焦状態を検出する合焦検出手段と、上記合焦検出手段による合焦検出時に被写体を照明する補助光手段と、合焦状態の検出を含む撮影準備動作およびそれに続く撮影開始を指示するリリーススイッチと、補助光手段の発光を単独で指示する補助光スイッチと、上記リリーススイッチの指示または補助光スイッチの指示によって発光を開始させ、上記補助光スイッチの指示によって発光を開始させた場合には、リリーススイッチの指示があったときに発光を強制的に停止するよう上記補助光手段を制御する補助光制御手段とを備えるものである。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

本発明に係る第6の補助光制御方法は、合焦検出用に被写体を照明する補助光手段と、合焦検出を含む撮影準備動作を指示する1段目スイッチ及び撮影開始を指示する2段目スイッチからなる2段式のスイッチを有するカメラの補助光制御方法において、上記1段目スイッチの指示に従い補助光を発光させ、合焦検出終了後も上記2段目スイッチの指示があるまで補助光を継続して発光させるものである。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除
【補正の内容】